



Boston Monthly



発行日：令和7年4月16日

ボストン マンスリー 5月号

発行者：坂井 浩

4・5月の日程

日	月	火	水	木	金	土
4/20	21	22	23	24	25	26
27	28	29 昭和の日 通常授業実施	30 休講	5/1 休講	2 休講	3 憲法記念日
4 みどりの日	5 こどもの日	6 振替休日	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31 第一回漢字検定締切
6/1	2	3	4	5	6	7 第一回数学検定締切

5月度の日程と費用について

●4～5月度の授業

■■■ゴールデンウィークの日程■■■

4/30(水)～5/6(火) 休講期間となります。

4/30(水)、5/1(木)、2(金)は祝日ではありませんが休講となりますのでご注意ください。

4/29(火)昭和の日は祝日ですが、回数調整のため通常授業を実施します。

●5月度月謝について

月謝と諸経費を通常通りお納め下さい。

◇銀行・郵便局口座引落の方

4月30日(水)にご指定の口座より自動引落させていただきます。

ボストンからのメッセージ

『定期試験回数の減少とその影響』 宮の森校 遠藤政男

今年も3月半ばから、ボストンの卒業生が大学合格のうれしい知らせを運んでくれました。なかには医師国家試験に合格して、この4月から研修医として札幌市内で働くことになった大学生が顔をだして、懐かしそうに教室を巡って行きました。そのOBから、「高校入試の前日に、先生から激励の電話をもらったことを今でも覚えていますよ。」と当時の話を聞かせてもらい、うれしい限りでした。みんな、「ボストンで学んだことが高校で役に立った。」と言ってきて、これからもボストンの伝統である『心をこめて学ぼう』の合い言葉のもと、しっかりと学問を教えていきたいと思いました。

本題ですが、ここ1、2年、定期試験の回数が減ってきている中学校が多くなってきています。20年ぐらい前までは、1学期・2学期は中間・期末の各2回、3学期は学年末試験のみで年5回が通常でしたが、その後1学期が期末試験のみになり年4回、そして10年ぐらい前から、2学期も期末試験のみとなり年3回となっていました。前期・後期の2期制の国立附属中学だけが年4回の試験を実施しているのが、ここ最近の札幌市内の傾向でした。しかし、ここ1、2年で1学期の定期試験がなくなり、夏休み明けの8月末から9月初めに1回目の定期試験が実施され、年明けの2月に学年末試験にあたる2回目の定期試験を実施する年2回の中学校が増えてきている傾向にあります。今年度からは国立附属中学校も前期・後期の中間試験を廃止し、年2回の定期試験だけにするとのお知らせがありました。

定期試験の回数が減れば、生徒にとってはうれしい話かもしれませんが、その反面、試験範囲が長くなり、覚える事柄や準備が大変になるのも現実です。例えば、昨年度年2回にきりかえた中学校の2月学年末試験の定期試験の範囲は、ほとんどの科目が1.5倍以上に長くなっています。中1の社会を例にとると、昨年が教科書で62ページだったのが、今年は108ページが範囲となりました。この範囲を勉強するのは、容易な話ではありません。途中で投げだしたくなる生徒もでてくると思います。

年2回になった中学校の中2の数学の授業で、他の中学校が定期試験だったため、復習をしていたところ、「一次関数の交点はどうやって求めるの？」と質問があり、「2直線の式を連立方程式で解けばいいんだよ。」と答えると、「この連立方程式どうやって解くの？」といった具合で、習った範囲がしっかりと身につけていない生徒が昨年より多く見受けられました。

中学校でも単元テストを実施していますが、単元テストと定期試験では生徒が勉強する重みが違う気がします。せめて学期ごとに定期試験を実施して、学習した範囲をしっかりと身につけることが、学力の向上につながると思います。ボストンでも、学期末ごとに小学生・中学生ともに総合試験を実施して、学習した範囲の定着を図っています。驚いたことには、札幌市内にも定期試験を1回も実施していない中学校もあるとのこと。今後、定期試験の回数が増えるのか不安でなりません。